

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

記入年月日:令和 6年 4月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容やそれぞれの特性に配慮し環境を設定している。	分離療育を行う際にプログラムの内容により、より広いスペースを使える場所を検討したい。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		個々への対応を優先して配置している。	時と場合により、児童が望む活動を満足して行えるようにするため検討する余地がある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		施設内には手すりやマットがあり、歩行に困難さがある児童でも安全に歩ける。	マットが剥がれやすい。定期的に補修しているが、その間つまずくかもしれない。補修は随時行いたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		児童対応後にその日の様子を報告し合い必要な情報共有、対策、改善を行っている。	指導員全員が質の良い療育を行うための指導を継続し行っていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者に毎月アンケートを配布しており任意で提出してもらい、返答書を配布している。	指導員全員がアンケートに目を通すことで、全員が課題を把握し、対応することで質の良い療育につなげていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに公開している。	より多くの人の目に触れるように情報をひらいていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげて職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	○	外部評価を行う場所は考え相談を行っている。 外部研修に参加している。	第三者による外部評価を行いたいとは考えているが具体的な動きにはつながっていない。 今後も機会があれば研修に参加したい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		毎日のプログラムのアセスメントを記録し、日々変化する児童の様子、課題やニーズを把握し、保護者からのアンケートとともに参考に支援の向上を図る。	指導員全員が課題やニーズを把握し、適切な療育につながるよう行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		活動内容に即したアセスメントシートを作成し、毎日記入している。	特別なプログラム変更に対応するアセスメントシートの作成も検討する必要がある。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		プログラムで重要となるポイントを共有している。	技術の向上を目指していきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動では好きなことや一緒にやりたいことを行えるようにしている。	ルーティンを行うことで落ち着いて過ごせる児童が多いため、プログラムが固定化することがある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		滞在時間の長短や1日の生活リズムを考慮したプログラムを通して課題となる事柄に挑戦している。	保護者の方やご本人と相談しそれぞれのニーズや課題に合わせたより細かい課題に取り組みるようにしていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童の特性や体調等を考慮し、個別活動と集団活動を組み合わせ計画作成している。	体調や調子は毎日変化するため、保護者と児童に承諾を得て、活動パターンを組み合わせている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		配置等や活動内容、支援方法について打ち合わせを行っている。	文書やタブレットを使った共有と共に対面での打ち合わせを継続実施し支援の質の向上につなぐ
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	アセスメントシートにてその日の児童の様子や気付き等を記入している。	支援の振り返りを行うことでより質の良い療育をしていきたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		保護者にその日の児童の様子を伝える際には、客観的に正しく記録を取っている。	正しく記録を取ることを徹底し続け、支援の検証・改善につなげていきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		それぞれの児童に合わせ、関係機関と情報共有を行ったり、担当者会議を行っている。	相談支援事業所等と細かく連絡を取り合うことで、多くの意見を伺っている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○	ガイドラインを把握し支援を行う計画を立てている。	プログラムに組み込んではいくが、共有不十分な点もあるためすり合わせを行いたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		知識と経験を兼ね備えた熟達した者が会議に参画している。	負担が過多にならないよう熟達した者を増やすための研修等を行いたい。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		基本毎月保護者の方や学校提出された送迎表や学校行事予定をお預かりし、送迎を行っている。	職員は送迎時に学校の先生と情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れを予定していたことがあり、児童の活動スペース等や留意点について保護者の方と何度か会議を行った。	類する児童の医療機関を含む担当者会議を行い、連携支援を行った。必要時には工夫し環境を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援とは引き継ぎの資料を預かり計画作成や具体的な支援方法を共有し役立てている。	保育園や幼稚園、認定こども園からは資料を預かる機会がないため検討する必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			児童の特性や得意なこと、苦手なこと、集中力が続く時間など、情報提供を行い今後に役立てている。	今後も継続して行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けて放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			過去に研修を行っていたことがある。	研修で得たものを実務的に活かしたい。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			活動の中で児童館に行き交流する機会がある。	児童館を希望する児童が少ないため交流する機会は少ない。
保護者への説明責任等	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的に保護者の方からアンケートやご意見、ご要望をお聞きし、連携を取っている。	必要な情報共有や助言を行う機会を積極的に持ちたい。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		送迎の際に質問があった場合は返答を出している。	ペアレントトレーニングを行う機会を作ることを検討している段階であり、積極的に行ってきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や再計画した際に丁寧に説明を行っている。質問に答えたり、今後の計画に関わる普段の困りごとなども保護者から聞く機会を作っている。	利用開始後からよくある質問がいくつかあるため、よくある質問集を作成することを検討している段階であり、配布して、周知していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			アンケートや送迎の際に子育てに関する困り事を受け、返答を出す対応している。	普段の子育てと事業所での活動に連続性が生まれるように、情報共有を引き続き行っていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士が交流したり、子育てに関する情報共有を行える機会を作ることを検討している段階である。	より良い保護者同士の交流の場として提供できるようにプログラムを作成したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情担当窓口を設置し対応している。	送迎時や電話対応の際に保護者に信頼してもらえるように真摯に対応することで、密な連携をとれるように心がけていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報は出していないが、毎日の活動の様子を写真や記録分等と共に保護者に向けて記入して、お知らせしている。	行事予定は出せていないので検討する余地がある。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			活動に際して個人の特性や置かれている環境、また活動内容や様子を保護者にお知らせする際にはプライバシーに配慮した対応をしている。	スタッフに周知し続け、この対応を継続していきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者に対してはアンケートを通して情報交換、共有をしている。子供に対しては1日のスケジュールを可視化したり、教材はイラストを活用している。	それぞれの児童に必要な教材を作成し、様々な方法で意思疎通や情報伝達ができるように日々、改良作成を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		検討している段階である。	新型コロナウイルスの影響により、交流する機会を失っている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	マニュアルは策定している。保護者への周知はまだのためこれから行なっていく予定。	保護者へ周知する際には見えやすいところに掲示を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		避難訓練を行っている。	言葉での意思疎通が難しい児童に対しては、訓練に際して必要な教材を用意することで、定着を促していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	事業所内で、重要な伝達事項として周知している。	専門性のある者が現場に入り、支援の質が全体的に上がるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体適正委員会を実施し周知している。	身体拘束の必要がある児童の対応をしたことがない。身体拘束適正委員会を継続的に実施し、職員の知識と技術の向上を図っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	医師の診断書はないが、保護者からの聞き取りで食物アレルギーの有無や内容を確認し、対応している。	学校休業日や始業式等で学校が早めに終わる日に、昼ご飯の買い出しを行うことが活動に含まれているため、今後もスタッフ間で周知し、対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	作成しており、事業所内での周知は行えている。	事例を踏まえての対応策をその都度相談し決め、現場で活用していきたい。